

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名

災害対応資機材取扱訓練

自治体名

岡山県美作市

消防団名

美作市消防団

1 事業の目的・必要性

被害の早期把握と被害者の早期発見を目的に常備消防本部と連携し訓練する。あわせて、排水ポンプ及び救助資機材等を使用し迅速な対応のため取扱いの習熟が必要。

2 事業内容

- ・ ドローン取扱訓練(講習) (2回)
操縦技術講習に併せて安全運用に必要となる法令講習を行う。
※講師はドローン事業者に依頼する。
- ・ 排水ポンプ及び救助資機材取扱訓練(2回)。梅雨時期前の6月、台風時期前の9月に排水ポンプの取扱い訓練を行い、併せて風倒木の撤去を想定してのチェーンソー、エンジンカッターの取扱訓練を行う。
※講師は消防本部職員に依頼する。

3 事業成果

ドローン事業者と消防本部職員による統一的な説明と取扱手技の確認が行われ、これを繰り返すことで各方面隊においての「運用責任者」となれる団員育成ができ、有事の際の早期初動に繋がり、使用頻度を増やすことで操作の熟練度もあがり、使用範囲(事案対応可能範囲)が拡大した。
排水ポンプ及び救助資機材取扱においても、新たな参加者を増やし、繰り返し訓練することで、災害使用時により多くの団員が迅速に対応できるようになった。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
訓練	回数	4回	4回	
参加者	人数	60人	60人	
検討会	回数	2回	2回	

5 その他参考情報

